

ひょうご



みどりの風

2009.9

No.27

(題字 井戸敏三会長)



(川西市黒川)

里山と生物多様性の保全

平成22年に開催される生物多様性条約第10回締約国会議で『SATOYAMAイニシアティブ』が提唱されるなど、里山における生物多様性への関心が高まっています。

里山は人間が生活のために燃料（まきや炭など）や、たい肥などを採取することを通じて維持され、その結果、生物多様性が豊かに保たれてきました。

しかし、今日では、生物多様性国家戦略において里山は人間活動の縮小による生物多様性保全上の危機が生じている地域の代表例とされています。

兵庫県では21年3月に「生物多様性ひょうご戦略」を制定し生物多様性の保全に努めていますが、里山については、兵庫方式による里山林の再生事業の推進、NP

Oや市民グループ、企業の森づくり等の多様な主体による里山林整備活動により保全を図ることとしています。

里山での生物多様性の保全に取り組んでいる地域のひとつに川西市黒川地区があります。

この地域では、古くから茶道用の炭の生産を通じて利用されてきた里山があり、森林文化協会が実施した「にほんの里」百選に選定されており、炭材となるクヌギ林の育成、エドヒガンの保全に取り組む森林ボランティア団体や企業による里山保全活動への支援など様々な形での取り組みが行われています。

今年11月1日に「ひょうご森のまつり2009」がこの黒川地区で開催されますので、是非お越し頂いて里山を満喫していただきますようお願いいたします。

(兵庫県豊かな森づくり課)

桜守の会の紹介

桜守の会 会長 長岡一夫

里山を次世代へつなぐ

桜守の会は1999年から宝塚市の桜の園「亦楽山荘（えきらくさんそう）」、都市公園隣接の里山、六甲山グリーンベルトなど5箇所です。都市近郊の里山整備（1箇所は支援）をしています。現在会員数241名、昨年度の活動回数94回、延べ参加者数2,153名となっています。しかし、会員の平均年齢が65歳を越し、継続が必要な里山整備を次世代に引き継ぐことが最重要な課題です。

そのため2000年に（社）国土緑化推進機構から「青少年森林ボランティア体験事業」の助成を受けたのを契機に「親子で森づくり」を始めました。その後ほかの団体の助成も受けながら継続し、この9年間で71回開催し、延べ子ども734名の参加を得て毎回盛会です。最近の6年間は4月を除いて毎月開催しています。



その他、県下公立校で実施される中学2年生の社会貢献活動「トライやる・ウィーク」の受け入れ、昨年から小学3年生の環境体験学習（今年から県下全校実施）の中の里山体験学習の支援、県の学校森林ボランティア体験事業の受託、緑の少年団の活動受け入れ、その他小中学校の総合的学習の受け入れなど機会があれば積極的に受け入れています。

これらの活動では、里山の自然観察、里山整備体験（常緑樹の除伐など）、森あそび（夏は川あそびも）を体験します。これらの活動を通じて子どもたち、保護者、先生に里山の様子、なぜ里山？ 里山の楽しさを実感します。



子ども関連の活動では計119回、子どもの参加者は延べ5,325名に達します。

参加した子どもたちが大人になったとき、この体験を生かして里山に目を向けてくれることを願っています。気の長い話ですが、感受性の高いこの時期に体験することは大切なことと考えています。また同時に里山を知らない保護者や先生にも体験してもらい、里山の理解者を増やしています。

子どもたちの里山に入ったときのすばらしい笑顔、保護者も先生も見たことのない笑顔・・・この笑顔に支えられて、この活動を続けています。

（写真は6月28日実施の「親子で森づくりinゆずり葉の森」から）



桜守の会には、平成21年度全国育樹活動コンクールに於いて国土緑化推進機構理事長賞に入賞されました。来る10月4日長崎県雲仙市で開催される全国育樹祭に於いて表彰されます。（祝）





兵庫県では昨年4月から新たな制度として「ひょうご・企業の森づくり」始めておりますが、すでにその制度のもとに、生活協同組合コープこうべ、株式会社東芝、コカ・コーラウエスト株式会社、川崎重工業株式会社などの森づくり活動が始まっています。

今後、この欄では制度の特色や進め方などとともに、企業の皆様の活動状況を紹介していきたいと考えています。

1. 「ひょうご・企業の森づくり」の特色

兵庫県では早くから森林の環境保全機能や文化機能などの公益的機能に着目し、「新ひょうごの森づくり」を策定して、「森林整備の公的関与の充実」と「県民総参加の森づくり」を進めてきました。その中で築かれた場所、活動、ネットワークなどの多様性をいかした森づくりが「ひょうご・企業の森づくり」の特色となっています。

①「場所の多様性」

日本海から瀬戸内海にわたる兵庫県はその地域ごとに森林も自然林、人工林、里山林など多様な形態を持っています。その中ですでに53ヶ所（7.31現在）の活動地を提供できる体制を整えています。

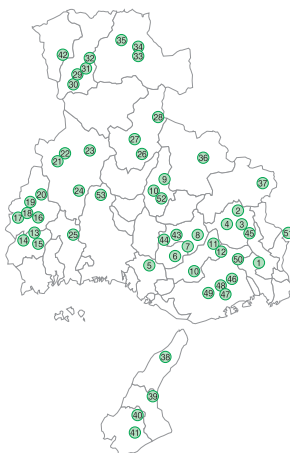
②「活動の多様性」

植樹、下刈り、除間伐などの森林整備活動に加えて、地域交流や環境教育までの幅広い活動をサポートします。

また、企業ぐるみの活動を促進するためには、木工クラフトや観察会など楽しさを演出するメニューも提供しています。

③「ネットワークの多様性」

企業と地域に任せるだけではなく、今まで兵庫県が培ってきたNPO、地域、森林組合、研究機関、行政などの森づくりネットワークを活用し、それぞれが役割に応じて支援していきます。



川崎重工業

昨年から準備していた「川崎重工西谷なごみの森」での第1回活動がこの4月に行われました。子どもたちの手によってヤマモミジの記念植樹が行われるとともに、広葉樹林の除伐などの森林整備に参加者は心地よい汗を流しました。また当日は地域恒例のさくらまつりとかさなり、にぎやかな地域交流の場となりました。



「ひょうご森のまつり2009」のご案内

11月1日（日）に川西市黒川地区で「ひょうご森のまつり2009」を開催します。

森を守り育てることの大切さや森の魅力を感じるイベント、催しが盛りだくさんです。

大都市近郊でありながら、緑豊かな自然環境に恵まれ里山文化が息づく黒川で森の魅力を感じてください。

（※今年度から「ひょうご森のまつり」は秋季開催となりました。）

1 日 時 平成21年11月1日（日） 10:00～15:30

2 場 所 川西市黒川地区 黒川グラウンド、知明湖キャンプ場ほか

3 主な行事

（1）メイン会場

- 式典：表彰、緑の少年団宣誓、キジの放鳥
- ステージ：里山音楽会（コカリナ演奏、ミュージカル・ソー演奏など）
- イベント：黒川里山特産物販売、森林ボランティア交流サロン、緑化作品コンクール展示など

（2）サブ会場

- 炭・薪を使った「火のある暮らし」紹介、チェーンソーアート大会、森林・林業展示、県産木材製品の展示、県下特産物の展示販売、木工クラフト、お茶席など

（3）周辺里山林

- 里山整備体験、クヌギ植栽体験など

注）来場は、公共交通機関をご利用いただき、能勢電鉄妙見口駅からシャトルバス（無料）をご利用ください。

※都合により一部変更する場合があります。



黒川の台場クヌギ

平成21年度春季募金の結果について

春季募金につきましては皆様方の暖かいご支援、ご協力により約5,587万円余を募金していただくことができました。厚く感謝を申し上げます。

(単位:千円)	学校募金	職場募金	街頭募金	その他
	2,224	3,573	635	327
家庭募金	31,660		企業募金	17,451

街頭募金活動



安平小学校緑の少年団の皆さんによる街頭募金活動
今年5月1日ジャスコ新洲本店前で

企業募金

缶ビール「アサヒスーパードライ」の売上の一部1,010万円を兵庫県「緑の募金」に寄附していただきました。今年7月16日アサヒビール神戸統括支社高橋社長から兵庫県緑化推進協会会長（井戸兵庫県知事）へ贈呈。同社の社会貢献活動の一つで、これらの募金は目の不自由な人が楽しめる香りの森づくりや里山の保全活動に活用いたします。



「緑の募金」にご協力をお願いします

ふせごう地球温暖化



(社)兵庫県緑化推進協会・各市町緑化推進委員会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地域で行っています。

ご寄付の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

●郵便払込

(社)兵庫県緑化推進協会の「払込取扱票」をご使用ください。(利用手数料は無料)

●銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438 (振込手数料が必要)
名義：社団法人 兵庫県緑化推進協会

募金の期間

春 3月1日～ 5月31日
秋 9月1日～ 10月31日

(社)兵庫県緑化推進協会

TEL 078 (341) 4070

URL : <http://www.hyogo-green.net/>

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

FAX 078 (341) 4071